

平成29年度 企画提案型協働事業  
関連課事前協議チェックシート

提案者名：木下まち育て塾

提案事業名：印西市木下地区歴史講座事業

関連課等名：生涯学習課

班等名：文化班

担当者名：根本 岳史

内線等：545

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- ① 市民ニーズはある
- ② ある程度の市民ニーズはある
- ③ どちらかとも言えない
- ④ どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- ⑤ 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

市主催の市史編さん講演会のほか、市民アカデミーや出前講座等、市の「歴史」や「文化財」についての講座に講師を派遣しており、地域の歴史や民俗、自然について学びたいという市民ニーズはがあると認識している。また、本事業においても例年多くの申し込みや参加者がおり、歴史講座という事業に対する市民ニーズもあると考えられる。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

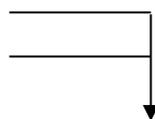
- ① 整合性がある
- ② 整合性がない
- ③ どちらともいえない

(具体的理由)

文化財の普及・活用に関し貢献した活動であり、また市民の自主的で創造的な文化活動の支援にもつながり、整合性が図れている。

(3)法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし

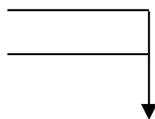


(1または2の場合の具体的理由)



#### (4)既に実施、または類似の事業等について

- ① 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)  
印西市木下地区歴史講座事業

#### (5)実施効果について

- ① 大きな効果が見込める
- 2 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

木下地区は近世・近代の水運を中心に、特徴的な発展を遂げる地域であり、市の歴史を知る上で重要な拠点となるだけでなく、他地域との関係も深い。その木下地区の中心地に残る木下まちかど博物館(旧吉岡家土蔵)を学習拠点として、市民の地域学習の機会を提供できることの意義は極めて大きいと考える。

本講座の内容は地区に限定したものではなく、開催の規模は小さいが、継続的に実施することで、一定の効果があると思われる。

#### (6)実施計画、実施方法について

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

これまでの事業実績および継続事業であることを考慮すると、実現性・実効性は高いと判断できる。

#### (7)市が行う事業(委託事業等)としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- ② 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

歴史講座という事業内容からは他団体との差別化は難しいが、市の歴史的建造物である吉岡まちかど博物館の活用など、木下地区の活性化という観点から、市の事業として実施できると考えられる。

## (8) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

### (具体的理由)

歳入、歳出ともに特に問題がないと考えている。

## (9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

実施する吉岡まちかど博物館の収容人数の問題もあり、夏期特別講座を除いて大規模な展開が困難である点が課題となる。この点について、平成29年度よりらーばんねっとを活用した講座の放映もはじまり、受講生以外への発信も開始されていることは非常に評価できる。

また、現在は歴史講座部分に事業の重点が置かれているが、地域の活性化という点から考えると、ボランティアや塾生など、その後の人材の活用や、地域の歴史家としての育成など、歴史講座で学んだ知識を活かしながら地域の活性を図る人材を育てるといった長期的な方針も必要となってくると考えられる。

## (10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

### (具体的理由)

歴史的な素材を活用しながら市民の歴史に対する関心を深めるとともに、地域の活性化を図るという点について、文化財の保護・活用という観点から、協働で事業を実施する意義があると考えられる。

